

はしかみ

No.21

6月号 (June)

議会だより

暮らし人
地域を豊かに



5月24日、さわやかな晴天のもと、道仏小学校で運動会が行われました。
【写真は、風船が割れないように協力してゴールを目指す児童と家族】



三陸復興国立公園
みちのく潮風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

02 第1回定例会

一般会計予算
3.0%減 58億円超

06 ここが聞きたい

4議員が一般質問

12 新議会組織決定

議員紹介

第1回 3月定例会

平成27年第1回定例会を3月6日開会し、3月13日閉会しました。今回の議会では、条例制定3件、条例の一部改正9件、条例の廃止3件、補正予算7件、新年度予算6件、その他7件、計35件が上程されました。審議の結果、いずれも全会一致で可決しました。一般質問は、4人の議員が行いました。



5項目の 重点施策

施政方針
暮らし・人・地域を豊かにする

1 子育て支援

○認定こども園等の保護者負担金を軽減し、子育て世代の負担軽減を図る。

2 健康で豊かな暮らし

○はしかみ美味しい健康レシピの普及を図る。
○乳幼児健診等の機会に、若い世代からの健康寿命意識の啓発を図る。
○協働の健康づくり補助金制度の継続と、八戸学院大学・短期大学と連携した運動と食による健康寿命の延伸に取り組む。

3 三陸復興国立公園指定を活かした交流人口の拡大

○階上駅から道の駅「フォレストピア階上」わっせ交流センター間の町内巡回バス（第2・4日曜日）の継続運行（第2・4日曜日）
（右下へ続く）

4 環境負荷軽減

○事業費拡大による防犯灯のLED化推進を図る。
○合併処理浄化槽の設置費補助金の町負担分を増やし、設置者の負担軽減を図る。
○夏場の可燃ごみ収集を週2回とし、利便性の向上を図る。

5 安全安心な暮らし

○防災機能を併せ持つ道仏コミュニティセンター（仮称）の新築。
○大蛇地区津波避難路の整備と津波避難看板の設置。
○被災者住宅再建支援事業費補助、木造住宅耐震診断支援事業委託料及び安全安心住宅リフォーム支援事業費補助の実施。

5 安全安心な暮らし

○被災者住宅再建支援事業費補助、木造住宅耐震診断支援事業委託料及び安全安心住宅リフォーム支援事業費補助の実施。

一般会計予算 町債34.0% 1億6430万円増

総予算 96億2183万円

一般会計予算 58億8000万円

特別会計予算 37億4183万円

▽27年度一般会計予算
予算総額は、58億8000万円、前年比3.0%、1億8000万円の減。

歳入（収入）の主なもの
【町税】3年に一度の評価替えに伴う固定資産税の減額等で、前年比3.0%減の9億7677万円。
【地方交付税】前年比3.8%減の21億7583万円。
【繰入金】前年比27.0%減の5億5464万円。内訳は、財政調整基金から5億1416万円、減債基金から1400万円、東日本大震災復興基金から1283万円、東日本大震災復興交付金基金から1365万円。
【町債】前年比34.0%増の6億4780万円。

歳出（支出）の主なもの
【総務費】社会保障・税番号制度推進事業費4802万円、県議会議員選挙費592万円、町議会議員選挙費780万円、地域公共交通網形成計画策定費635万円等。
【民生費】臨時福祉給付金事業費2113万円、子ども子育て支援事業費2945万円、子育て世帯臨時特例給付金事業費678万円等。
【衛生費】国民健康保険特別会計繰出金1億5983万円、予防接種費3707万円、乳幼児等医療費給付費1440万円、住民検診2644万円、健康寿命延伸事業336万円等。
【農林水産業費】水産振興事業補助金215万円、小舟渡漁港施設機能強化事業負担金1400万円等。
【商工費】三陸復興国立公園維持管理費687万円、町の観光PR632万円等。

【土木費】漁業集落排水事業特別会計繰出金3270万円、三陸復興国立公園内階上岳の草刈り450万円、道路維持工事5500万円、道路新設改良費1億3260万円、空き家状況調査委託料44万円、木造住宅耐震診断支援事業委託料40万円、住宅リフォーム支援事業補助金240万円、新築住宅支援事業補助金300万円、被災者住宅再建支援事業補助金336万円等。
【消防費】沿岸地区津波避難看板等整備2806万円等。
【教育費】道仏中学校外トイレ改修650万円、奨学金3456万円、語学指導外国青年招致事業1062万円、町史編さん事業173万円、道仏コミュニティセンター（仮称）整備3億4325万円等。

【歳入（収入）の主なもの】
【町税】3年に一度の評価替えに伴う固定資産税の減額等で、前年比3.0%減の9億7677万円。
【地方交付税】前年比3.8%減の21億7583万円。
【繰入金】前年比27.0%減の5億5464万円。内訳は、財政調整基金から5億1416万円、減債基金から1400万円、東日本大震災復興基金から1283万円、東日本大震災復興交付金基金から1365万円。
【町債】前年比34.0%増の6億4780万円。

【歳出（支出）の主なもの】
【総務費】社会保障・税番号制度推進事業費4802万円、県議会議員選挙費592万円、町議会議員選挙費780万円、地域公共交通網形成計画策定費635万円等。
【民生費】臨時福祉給付金事業費2113万円、子ども子育て支援事業費2945万円、子育て世帯臨時特例給付金事業費678万円等。
【衛生費】国民健康保険特別会計繰出金1億5983万円、予防接種費3707万円、乳幼児等医療費給付費1440万円、住民検診2644万円、健康寿命延伸事業336万円等。
【農林水産業費】水産振興事業補助金215万円、小舟渡漁港施設機能強化事業負担金1400万円等。
【商工費】三陸復興国立公園維持管理費687万円、町の観光PR632万円等。

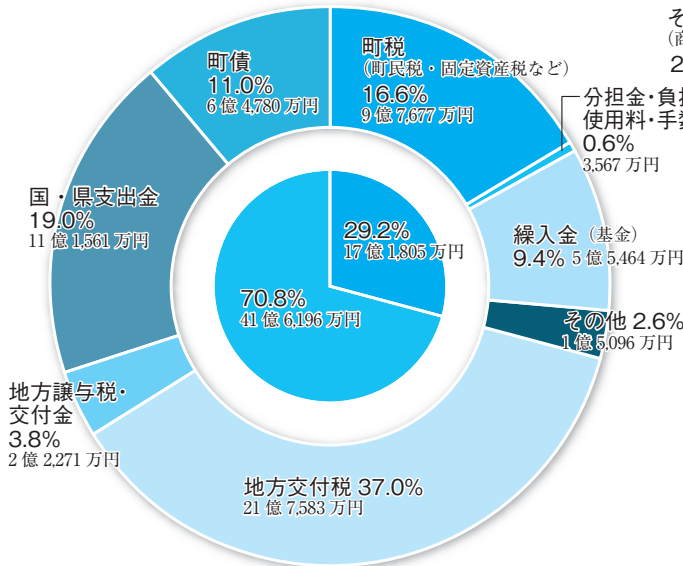
【歳入（収入）の主なもの】
【町税】3年に一度の評価替えに伴う固定資産税の減額等で、前年比3.0%減の9億7677万円。
【地方交付税】前年比3.8%減の21億7583万円。
【繰入金】前年比27.0%減の5億5464万円。内訳は、財政調整基金から5億1416万円、減債基金から1400万円、東日本大震災復興基金から1283万円、東日本大震災復興交付金基金から1365万円。
【町債】前年比34.0%増の6億4780万円。

【歳出（支出）の主なもの】
【総務費】社会保障・税番号制度推進事業費4802万円、県議会議員選挙費592万円、町議会議員選挙費780万円、地域公共交通網形成計画策定費635万円等。
【民生費】臨時福祉給付金事業費2113万円、子ども子育て支援事業費2945万円、子育て世帯臨時特例給付金事業費678万円等。
【衛生費】国民健康保険特別会計繰出金1億5983万円、予防接種費3707万円、乳幼児等医療費給付費1440万円、住民検診2644万円、健康寿命延伸事業336万円等。
【農林水産業費】水産振興事業補助金215万円、小舟渡漁港施設機能強化事業負担金1400万円等。
【商工費】三陸復興国立公園維持管理費687万円、町の観光PR632万円等。

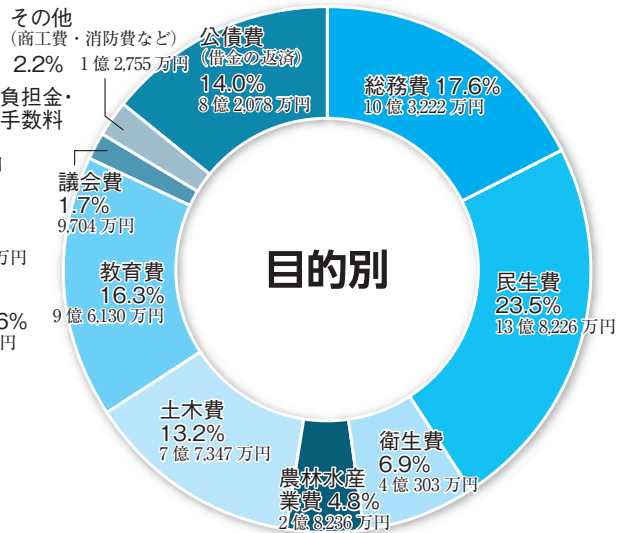
27年度一般会計予算 58億8千万円 -3.0% 1億8千万円減の予算を可決

一般会計予算

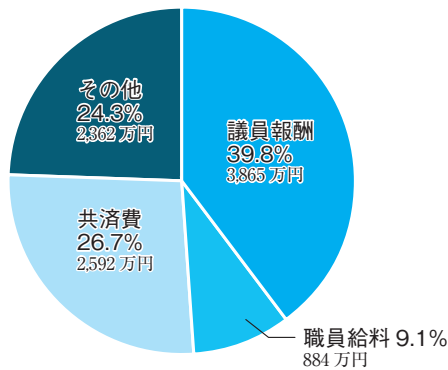
歳入(収入)



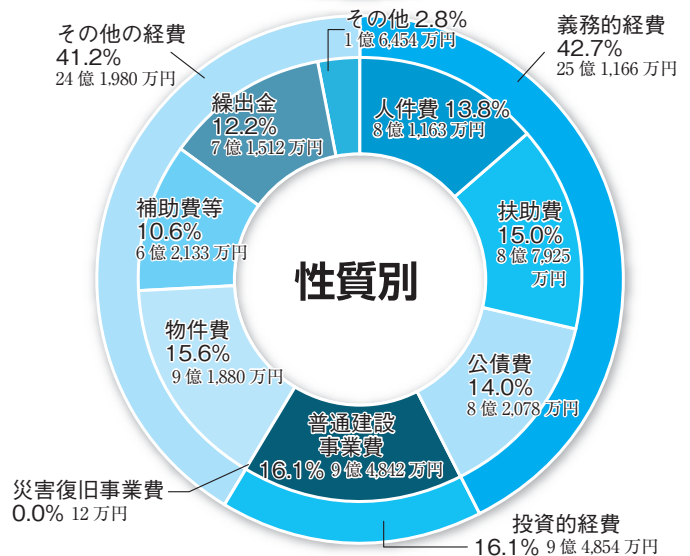
歳出(支出)



議会費 9,704万円



性質別



平成27年度 一般会計・特別会計予算額

会計名	27年度	26年度	差し引き増減額	増減率(%)	
一般会計	58億8,000万円	60億6,000万円	△ 1億8,000万円	△ 3.0	
特別会計	国民健康保険	20億3,011万円	17億6,263万円	2億6,748万円	15.2
	漁業集落排水事業	4,104万円	4,215万円	△ 111万円	△ 2.6
	介護保険	12億6,240万円	11億9,652万円	6,588万円	5.5
	公共下水道事業	3億969万円	3億364万円	605万円	2.0
	後期高齢者医療	9,859万円	1億773万円	△ 914万円	△ 8.5
	小計	37億4,183万円	34億1,266万円	3億2,917万円	9.6
合計	96億2,183万円	94億7,266万円	1億4,917万円	1.6	

金額はすべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

主な新規事業

—当初予算の主要施策説明書は町のホームページでご覧になれます—



コミュニティバス

地域公共交通網形成計画策定

事業費 635万円

コミュニティバスやスクールバスなどの実態調査、ニーズの調査を行い、地域の実情に合わせた「地域公共交通網形成計画」を作成し、町民の移動の利便性向上を図ります。

わっせ交流センター改修事業

事業費 1,295万円

多目的トイレの増築と、体育館などの雨漏り改修、エアコンの設置工事を行い、お客様に快適な空間を提供します。



わっせ交流センター



更新されるグレーダー

除雪グレーダー更新

事業費 3,225万円

老朽化した除雪グレーダーを更新して、除雪作業の効率化を図り、冬季間の生活路線の交通確保を図ります。

道仏中学校外トイレ改修

事業費 650万円

老朽化により使用不能となった外トイレの改修を行い、教育環境の整備を図ります。



改修される外トイレ

条例の制定・改正・廃止・専決処分・その他

■専決処分

▽旧金山沢小学校改修工事請負契約の一部変更契約設計変更に伴い、契約額「1億95万8千400円」を「1億464万120円」に変更。

■条例の一部改正

▽階上町特別職の職員の給料等に関する条例等の一部改正
地方教育行政の組織及び運営に関する法律改正及びいじめ防止対策推進法の施行に伴う改正。

■条例の制定

▽階上町教育委員会教育長の勤務時間等に関する条例の制定

教育長の勤務時間等に関して、必要事項を定めるための制定。

▽階上町立学校施設の開放に関する条例の制定

町立学校施設の開放について、所要事項を定めるための制定。

▽階上町子ども医療費給付条例の制定

小中学生の医療費給付について、所要事項を定めるための制定。

部改正

▽階上町乳幼児等医療費給付条例の一部改正
児童の医療費給付に関して、小学生の通院費を対象とするための改正。

▽階上町介護保険条例の一部改正

第6期介護保険計画に基づく所要の改正。

▽階上町道路占用料等徴収条例の一部改正

道路法施行令の改正に伴う占用料の改正。

▽階上町公共下水道事業受益者負担金及び分担金条例の一部改正
下水道事業区域の変更に伴う、拡大地域追加の改正。

▽非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例及び階上町附属機関に関する条例の一部改正
階上町まち・ひと・しごと創生有識者会議について、所要事項を定めるための改正。

▽階上町住民集会所条例の一部改正
集会所の一部廃止に伴う所要の改正。

▽階上町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の廃止

▽階上町保育の実施に関する条例の廃止

▽階上町農村婦人の家設置

条例及び階上町農村婦人の家使用料徴収条例の廃止

■その他

▽金山沢水郷館に係る指定管理者の指定
金山沢水郷館の指定管理者を指定するため。

▽町道路線の認定
「南平・柳平線」を町道に認定するため。

▽青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更
構成団体の減少及び共同処理事務の変更に伴い、組合規約を変更するため。

▽人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めること
四人の委員の任期満了に伴う後任の候補者を推薦することについて、次の方が同意されました。

- 谷川 保博
- 中村 豊志
- 熊谷 唱子
- 高橋 信一

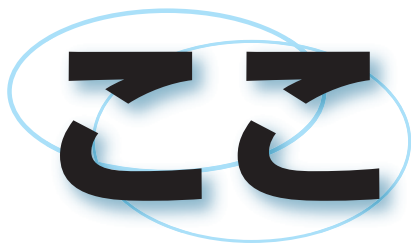
(敬称略)

平成26年度 一般会計・特別会計の補正予算額

区 分	補 正 額	→	予 算 総 額	
一般会計補正予算 (第4号)	1,484万円	→	63億5,347万円	
一般会計補正予算 (第5号)	7,277万円	→	64億2,624万円	
特別会計	国民健康保険 (第3号)	→	18億5,308万円	
	漁業集落排水事業 (第3号)	△ 32万円	→	4,157万円
	介護保険 (第3号)	△ 4,019万円	→	11億7,791万円
	公共下水道事業 (第3号)	△ 136万円	→	2億7,621万円
	後期高齢者医療 (第3号)	△ 837万円	→	9,947万円

金額はすべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

一般質問



が聞きたい

第1回定例会では4人の議員が登壇し、町側の考えをたしました。要旨を掲載しています。



加藤 祐 議員

国民健康保険特別会計の財政見通しは

町長／安定した国保財政のため、
健康意識を高め医療費の抑制に努める

Q①

国民健康保険は、生活を守るための保険制度の一つである。運営主体は市町村に託されており、経済不況・人口減少・高齢化等によりこの市町村でも一般会計からの繰り入れで運営されている。全国市町村の法定外繰入金は3500億円と聞いており、本町も平成27年2月末現在で法定外の7000万円を一般会計から繰り入れている。

国保会計は、ざっくり分けて国、自治体が半々で、本町の保険税率は近隣の類似団体と比較して決して高くはなっていないが、税率を上げると徴収率が下がる悪循環となっている。

新年度当初予算で財政

支援特別繰入金として3000万円の法定外繰入金を見込んでいるが、色々な要因がある中で医療費の負担増が最も大きく、その対策として健康診断の促進が必要かと思われる。

色々な対策を講じながらも国民健康保険事業を町単独で運営することに限界があると感じているが、首長会議等では話題にならないか。また、財政圧迫が懸念される中、今後の国保財政に関わる見通しを伺いたい。

A①

町長 国民健康保険特別会計の財政は各市町村とも厳しい状況となっており、全国市町村の平成25年度法定外繰入金は3500

億円となっている。その要因は国保加入者の年齢構成が高いため医療水準が高いことや低所得者が多いため税収入が少なく、郡町村会でも話題として取り上げ、県や国に対し改革を要望して来たところである。

厚労省ではこれまで「国保基盤強化協議会」を開催し財政基盤を抜本的に強化し改革を進めていく計画である。

また平成30年4月から都道府県が国保財政運営の責任主体となり、制度の安定化を図ることとされている。

本町国保財政の見通しは今後さらに厳しい状況が増すものと考えられるが、安定した国保財政の

ためには町民の健康への意識を高め医療費を抑制することが重要である。

健診の受診率の向上、健康教室の開催に加え、今年度からは健康レシピの作成等、健康寿命の延伸事業にも取り組んでいるところである。来年度においても健診受診の勧奨等をさらに推し進め、健康度をアップし医療費抑制に努めて参りたい。

Q②

町の負担を抑制する意味からも、県を含め地方が国に対してもっと声を高くしていくべきと思うが。また健康診断、健康増進の普及を図り短命県返上に町でも積極的に取り組むべきと考えるが町長の見解を伺いたい。

A②

町長 健康寿命延伸は一朝一夕にはできないものではないが、町全体が健康に関心を持つことが大事であると考えている。各地域の方々と連携しながら町全体が元気になって行くよう取り組んでいく。





郷州公典 議員

町民体育館の改修と健康都市宣言実施の考えは

町長／「公共施設等総合管理計画」の策定と事業精査の中で検討

Q① ハートフルプラザで健康フォーラムが開催され、運動を勧められるとともに、減塩（かるしお）についての講演があった。また、ふれあい交流館では、健全な食生活と適度な運動が健康寿命を延ばすと学んだ。

が、階上町も健康都市宣言をできる体制をつくり、町民の運動、健康意識の改革を進めるべきである。

28年度の2カ年で、町の「固定資産台帳」の整備と「公共施設等総合管理計画」の策定を行う。

いては、本町の体制や各事業等を精査して検討したい。

A① 町長 国では、進行する公共施設等の老朽化に対応するため、平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、各地方公共団体に対して、速やかに公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画策定に取り組みよう要請があった。

町民体育館の改修は、管理計画策定の過程において、その方向性を検討したいと考えている。

A① 保健福祉課長 今年度の健康増進に関する事業実施状況は、健康推進員、町の保健師の健診勧奨により、特定健診やがん検診で受診者は伸びている。また、食生活改善推進員の方による健康レシピの作成や、健康寿命延伸事業等を実施し、課題はあるものの、健康に関する関心は高まっていると感じる。

Q② 町民が元気に暮らすには、一人が一つの運動をすることを普及することが必要と考えており、体育館の改修が必要。策定予定の総合管理計画がどのようなものになるのか。

また、八戸市では、「健康と福祉のまちづくり」条例を制定し、スポーツ振興している。階上町でもできないか。

A② 町長 総合管理計画の内容は、今後会議の中で検討される。

現在町では、八戸学院大学等との連携により、健康に対する取り組みを行っている。

健康づくりの方向性については、健康都市としての方向を模索しながら関係機関と連携した共通認識をもって取り組み、効果的な方法を生み出していく。

健康な生活を送るためには、運動をすることが大切であるが、階上町の場合、冬期間に運動をするためには、体育館の使用が必要である。町民体育館の暖房は移動式であり、効率的で安全なものにすることが必要であり、高齢者や障害者のためには、ウォシュレットへの改修も必要と考える。

八戸市は十年前に「健康都市宣言」をしている

町では、平成27年度と

「健康都市宣言」につ





大江和夫 議員

プレミアム商品券発行事業と公共施設の今後は

町長／商品券・できる限り多くの世帯に行き渡るよう検討 公共施設・町全体の施設のあり方を検討

Q① プレミアム商品券発行事業について、国では「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」の三本の矢からなるアベノミクスを進めている。

国内の経済動向では、円安による物価上昇や昨年4月の消費税引き上げによる消費の低迷など、地方の景気回復はまだまだ実感できない状況にある。そのような中で、国は昨年12月に地域経済の活性化等を図るための交付金を活用し、プレミアム商品券発行事業や低所得者に対する助成など、地方自治体が行う政策を支援する緊急経済対策を決定している。

特に、プレミアム商品

券発行事業は町の活性化

対策や消費喚起の効果が高いことから、大いに期待されている所である。

プレミアム商品券は、県と町を合わせ20パーセントの支援であると聞いているが、町の経済活性化のために、町単独で更に10パーセントの上乗せをする考えはないか。

② 昨年4月に、国は地方公共団体に対し、「公共施設等総合管理計画の策定」に取り組むよう要請を行った。

当町の学校や集会施設、体育館などは、建築年数が相当年経過している施設がある。

各施設の更新や統廃合等長寿命化による、今後の財政負担軽減にもつな

策定状況を伺いたい。

A① 町長 ①プレミアム商品券発行事業については、国の

支援として「地域住民生活等緊急支援のための交付金」が交付されること

を受け、町では低所得者等の支援として、町民税非課税者一人当たり3千円、子育て支援として、中学生以下の子ども一人当たり4千円の商品券を給付することになっている。

プレミアム商品券については、これまで町商工会と協議を重ねて方向性を決定し、できる限り多くの世帯に行き渡るよう試算した結果、プレミアム率を20パーセントとして、発行は1万2千セツトにすることとした。

総額は、交付金と県補助金を合わせ、約382

4万円となった。

② 町では、平成27年度と28年度の2カ年で「固定資産台帳」と「公共施設等総合管理計画」の策定を行う。

町の人口推計を行い、施設利用者の意見を伺いながら、類似施設の集約化や複合施設への転換などにより、今後の財政負担の軽減を図って参りたい。

Q② ①我が町の経済を元気ある環境にするため、プレミアム付き商品券というこ

とですから、更に10%上乗せし30%として、消費者還元する対策も必要と考える。今後の実施に向

けて再度検討願いたい。
② 建造物の老朽化で著しいのは、民族資料収集館となっている旧中央公民館であるが、この施設の今後の計画について伺いたい。

A② 町長 ①プレミアム商品券の上乗せについては、低所得者の方や子育て支援に

比重をおいて検討した。

金額を上げて消費してもらいよりも、より多くの方から利用していただくことが、消費の喚起に効果的と考えおり、現在10%の上乗せは考えていない。

② 公民館、旧中央公民館については、町全体のあり方を含め、計画策定の中で検討する。





百目木和俊 議員

少子化対策の今後の取り組みは

町長「まち・ひと・しごと総合戦略」策定の中で検討

Q① 総務省の人口調査では、全国9割の町や村で人口が減少し、日本の総人口が5年連続で減少したことが明らかとなった。

日本創生会議によると、2040年に896の自治体で、20歳から39歳の若年女性が半減し、523の自治体が消滅の可能性が高いとの推定を発表したことから、全国的に衝撃が走った。

急激に進む少子高齢社会に該当する地域に住む人にとって、経済の縮小等により、十分な公的サービスが受けられなくなるのではないかと、懸念が生じている。

地方から都市へ人口が流れる一極集中を転換し、地方への定住を促して、子育て世帯への各種手当

の拡充、大胆な少子化対策を進めて、人口減少に歯止めをかけていくことが求められている。

国、県、町において、安心して子どもを産み育てられる社会とするため、各種の子育て支援対策を進めているが、大きな効果を見出せない状況にあると考えている。

特に20代から30代の女性の町への転入促進、転出抑制を図る施策が必要であり、進学や就職、結婚等で一度は町外に転出して、階上町に住んだ方が子育てしやすいと思える特徴ある施策を実施すべきと考える。

少子化対策について、今後の町の取り組みを伺いたい。

A①

町長 昨年11月に、日本全体の人口減少克服と地方創生に取り組むための「まち・ひと・しごと創生法」等が成立した。

現在、50年後に1億人程度の人口維持を目指す「長期ビジョン」と、将来にわたって活力ある日本社会を実現するための5カ年計画を示す「総合戦略」の取りまとめが行われている。

当町においても、平成27年度に「階上町まち・ひと・しごと総合戦略」を策定し、町の人口ビジョンを踏まえ、平成27年度からの5カ年の目標や施策の基本方向、具体的な施策を取りまとめることとしている。

町の総合戦略に先行して、平成27年度から、子

育て支援として、中学生以下の医療費を原則無料化して、医療機関の窓口での支払いの必要がない現物支給と、「子ども、子育て支援制度」に合わせ、現行の保育料を見直し、保護者の負担を軽減することとした。

更には、階上町を訪れ、体験し、知ってもらうというところで、観光と出会い、これらを融合させたイベントを開催し、未婚者の出会いの場の提供と、人口交流の拡大を図りたいと考えている。

また、地域経済の活性化を図るため、新規就業者の育成や、町内の創業者に対する融資制度などについても取り組んでいく。

また、わっせ交流センターの指定管理者「NP

〇階上岳より未来へ」からの色々な提案内容が実現され、地域活性化、地域の雇用、観光・情報発信の拠点として、また6次産業化に向けての役割が果たされるよう連携を図っていく。



質疑あれこれ

第1回定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

27年度一般会計予算

山田恵治 議員

◆教育委員会の事業計画と予算執行について

問 ①旧金山沢小学校駐車場の舗装整備費に2千万円計上されているが、優先整備すべき事業なのか。教育委員会全体の事業計画の中で、十分な検討がされたのか。また、事業の実施にあたっての費用対効果の考え方は。②中央体育館の利用率が高い。駐車場及びトイレの水洗化の整備が必要と考える。

答 教育課長 ①水郷館として4月からスタートすることになり、地域住民活動の活性化と地域外からの活用も図るため、既存の駐車場と合わせ整備したい。教育委員会事

業の中で集会所施設としての活用を含め検討した。また、効果については、集会所として十分な活用が期待される。

答 教育長 ①4月のスタートに合わせ地域の活性化を図るため整備する。教育委員会の中で、優先順位などは検討している。また、町民からいただく税金を大切に使うことも含め、費用対効果を高めることは大事なことと考えている。②中央体育館についても早期に改善しなければならぬと考えている。

松尾國治 議員

◆選挙公報発行について

問 階上町において、選挙公報を発行する考えはあるか。

答 総務課長 県内では

十市が選挙公報の条例を定め、町村では1町が実施予定となっている。選挙告示から投票日までの期間が5日間で、準備から、町民に広報できるまでの期間が限定されていくことや、町民全員に早期に行き渡る配布方法などの課題もあるが、選挙公報の配布は必要と認識しており、検討したい。

畑中弘實 議員

◆金山沢水郷館の環境整備について

問 金山沢水郷館の玄関左側の庭木が伸び放題になっている。また石灰石を運搬した機関車とトロッコの塗装が剥がれているが、整備予定は。

答 総合政策課長 現場を確認して、今後検討していきたい。

◆町管理となった田代・番屋線の融雪剤散布について

問 冬季間における田代番屋線への融雪剤散布実

施の考えは。

答 建設課長 田代地区の田代番屋線について、26年度は地元の方に必要な時に融雪剤をまいていただいた。27年度は、町全体について検証し見直す予定となっているので、その中で検討したい。

森 榮吉 議員

◆廿一平の環境整備について

問 小舟渡廿一平の草刈りについては回数を増やすなど、景勝地としての、維持管理と環境保全に努めるとのことであったが、予算措置は。

答 産業振興課長 小舟渡行政区の協力を得て、いちご煮祭りの際の草刈も含め年4回実施している。これからは、一昨年植栽したハマナスの管理も合わせてお願し、地元行政区の了解を得ている。それらのために20万円の予算措置をしたところである。

百目木和俊 議員

◆金山沢水郷館指定管理委託料について

問 指定管理料の90万円について、集会施設だけか、水郷館全体の管理料か。

答 教育課長 集会施設も含め全体の管理料で、電気料、ガス料、浄化槽料等、基本的な施設の維持管理にかかる費用と、諸経費として、90万円計上した。

郷州公典 議員

◆空き家状況調査について

問 空き家状況調査委託料43万6千円が計上されている。調査を実施した後の計画があれば伺いたい。

答 建設課長 今回の予算は空き家の戸数、老朽度合いを把握するためのものである。その後については国の特別措置法等を参考にしながら管理、活用法等を協議し条例化に向けて検討したい。

鹿原章男 議員

◆指定管理者評価支援委託料について

問 委託する業者はどのような業者を想定しているのか。現地調査、書類審査を行うとあるが、年何回か。

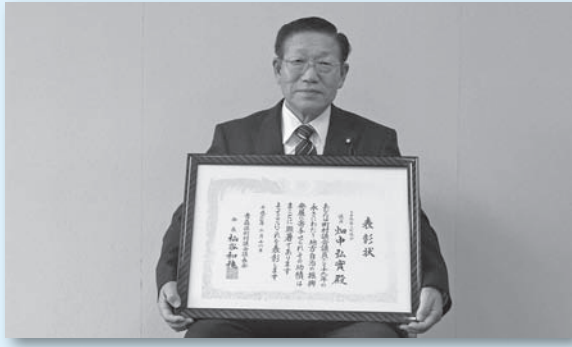
答 総合政策課長 委託先は、会計士や税理士等を想定している。指定管理を導入している観光3施設について、適正な管理を実施するため、調査は年2回程度と考えている。

◆光ケーブルの管理料について

問 26年度と27年度予算の差額は何か。東部地区の維持管理は今後も町が行うのか。また、加入率は。

答 総務課長 八戸久慈道の工事に伴い、移設費697万円が増となった。維持管理は、町で継続管理する。加入率は、昨年末で24%。現在それより上回っている。

自治功労者表彰



畑中 弘實 議員
(平成7年4月30日～現在)

**青森県町村議会議長会表彰
議員19年以上**

◆平成27年2月16日、青森市において「県町村議会議長会第65回定期総会」が開催され、自治功労者表彰を受けた本町議員は6人で、畑中議員は19年以上、郷州議員・山田議員・石川議員は15年以上、加藤議員、鹿原議員は11年以上在職で表彰を受けました。



石川 清人 議員
(平成11年4月30日～平成27年4月29日)



山田 恵治 議員
(平成11年4月30日～現在)



郷州 公典 議員
(平成11年4月30日～現在)

全国町村議会議長会表彰議員15年以上



加藤 祐 議員
(平成15年4月30日～平成27年4月29日)



鹿原 章男 議員
(平成15年4月30日～平成27年4月29日)

青森県町村議会議長会表彰議員11年以上

平成27年 第2回臨時会

平成27年第2回臨時会が3月30日に召集され、

大蛇地区復興避難路（歩道橋）整備工事請負契約の締結、副町長の選任同意及び教育長の任命の3件が上程され、審議の結果、いずれも全会一致で可決（同意）しました。

可決議案

副町長の選任、教育長の任命について次の方が同意されました。

▽副町長

沼 沢 範 雄

▽教育長

川 浪 孝 雄

平成27年 第3回臨時会

【新議会組織決定】

町議会臨時会において、議長・副議長及び各委員会委員が決定されました。

協議を担当。）

◎郷州 公典

○松尾 國治

議長 山田 恵治

副議長 畑中 弘實

【総務財政常任委員会】

（総務、企画財政、税務、出納に関する事項及び他の委員会に属さない事項を担当）

◎林 貢

○濱谷 貴樹

【監査委員】

森 榮吉

主な可決議案

平成27年第3回臨時会

育・社会教育、戸籍住民、福祉、健康増進に関する事項及び他の委員会に属さない事項を担当）

◎松尾 國治

○畑中 弘實

【産業建設常任委員会】

（産業振興、土木建設、下水道に関する事項及び他の委員会に属さない事項を担当）

◎百目木 和俊

○大江 和夫

【八戸地域広域市町村圏事務組合議会】

郷州 公典

【八戸市階上町田代小中学校組合議会】

畑中 弘實

百目木和俊

松尾 國治

大下 修

は5月11日に召集され、

専決処分による条例改正2件、専決処分による平成26年度一般会計及び特別会計補正予算6件等計9件が上程されました。

審議の結果、いずれも全会一致で承認、可決（同意）しました。

（産業振興、土木建設、下水道に関する事項及び他の委員会に属さない事項を担当）

条例の一部改正

条例の一部改正は、いずれも平成27年度税制改正に伴い改正するもの

▽階上町税条例等の一部を改正する条例

軽自動車税の税率、たばこ税率の特例廃止、固定資産税の負担調整の延長等の改正。

▽階上町国民健康保険条例の一部を改正する条例

課税限度額の引き上げ、低所得者層の負担軽減のための基準の改正。

平成26年度予算

▽一般会計補正予算

既定額64億2624万

円に3714万円を追加し、64億6338万円とした。

▽国民健康保険特別会計補正予算

既定額18億5308万円から684万円を減額し、18億4624万円とした。

▽漁業集落排水事業特別会計補正予算

既定額4157万円から70万円を減額し、4087万円とした。

▽介護保険特別会計補正予算

既定額11億7791万円から949万円を減額し、11億6842万円とした。

▽公共下水道特別会計補正予算

既定額2億7621万円から297万円を減額し、2億7324万円とした。

▽後期高齢者医療特別会計補正予算

既定額9947万円から291万円を減額し、9656万円とした。

議会傍聴者数

- ・第1回定例会（平成27年3月）
3月6日（1人）
3月10日（29人）
3月12日（3人）
3月13日（5人）
- ・第2回臨時会（平成27年3月）
3月30日（2人）
- ・第3回臨時会（平成27年5月）
5月11日（4人）

議会を傍聴しませんか



議会の傍聴は、受付簿に、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

議員紹介

< 副議長 >



13番 畑中 弘實 (71)
①教育民生 ②6期目

みなさんの意見を
町政に反映させるため
がんばります。

新議長挨拶
浅学非才の私ではありますが、町民に住んで良かったと言われる町づくりを目指し、町の更なる発展のため議員の皆様方と一枚岩となって、議会運営に努めて参る所存です。
少子高齢化が進む中で、議員自らが研鑽を積み、町の特徴を生かしたユニークな町づくりに取り組んで参りたいと考えておりますので、皆様方のご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

議席番号 氏名 (年齢)
①所属委員会 ②議員歴

< 議長 >



14番 山田 恵治 (61)
①総務財政 ②5期目



1番 荒谷 憲輝 (45)
①産業建設 ②1期目



2番 大下 修 (56)
①教育民生 ②1期目



3番 小松 雅彦 (56)
①産業建設 ②1期目



4番 上道二三男 (58)
①総務財政 ②1期目



5番 長根 岩夫 (62)
①総務財政 ②1期目



6番 森 榮吉 (67)
①教育民生 ②2期目



7番 濱谷 貴樹 (44)
①総務財政 ②2期目



8番 松尾 國治 (67)
①教育民生 ②2期目



9番 林 貢 (67)
①総務財政 ②3期目



10番 百目木和俊 (64)
①産業建設 ②3期目



11番 大江 和夫 (65)
①産業建設 ②3期目



12番 郷州 公典 (69)
①教育民生 ②5期目

議会活動

2月

- 1日 階上早生そば焼酎「早生のめぐみ」お披露目会
- 2日 郡議会定期総会
- 13日 教育委員会制度等説明会
- 13日 第12回青森県地方分権推進シンポジウム
- 16日 第65回県町村議会議長会定期総会・自治功労者表彰式
- 16日 「連携中核都市圏」講演会
- 20日 交通事故抑止祈願祭



20日 交通事故抑止祈願祭

3月

- 3日 議会運営委員会
- 5日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会議員協議会
- 6日 第1回定例会本会議
- 6日 議員全員協議会
- 10日 第1回定例会本会議
- 10日 議員全員協議会
- 12日 第1回定例会本会議
- 13日 第1回定例会本会議
- 14日 卒業式(道中・階中)
- 20日 卒業式(階小・道小・石小)
- 21日 卒業式(赤小・舟小・大小)
- 24日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会定例会
- 27日 学校長教頭送別会
- 30日 議会運営委員会
- 30日 第2回臨時会本会議
- 31日 退職者辞令交付式

4月

- 1日 辞令交付式
- 3日 町連合婦人会総会
- 7日 小・中学校入学式
- 8日 町防犯協会総会
- 16日 町体育協会総会
- 17日 階上岳山開き安全祈願祭

5月

- 17日 町観光協会総会
- 18日 町連合PTA総会
- 19日 八戸地区消防連絡協議会観閲式
- 22日 町老人クラブ連合会総会
- 11日 第3回臨時会本会議
- 15日 町民生委員児童委員協議会総会
- 16日 町南部芸能協会総会
- 17日 第4分団結成80周年・屯所新築落成記念祝賀会
- 19日 町身体障害者福祉会総会
- 19日 町商工会総会
- 19日 青森県鉄道整備促進期成会総会
- 25日 はしかみ美味しい健康レシピ試食会・研修会
- 26・27日 町村議会議長研修会

橋場敏雄元議員逝去

元町議会議員の橋場敏雄さん(78)が、2月14日、ご逝去されました。平成13年12月から、5年4か月間議員として、町の発展に尽力されました。ここに故人のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈りいたします。

議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	会費	3月27日	学校長・教頭送別会	7,000円
2	祝金	4月3日	町連合婦人会総会	3,000円
3	祝金	4月16日	町体育協会総会	3,000円
4	祝金	4月18日	町連合PTA総会	3,000円
5	祝金	4月22日	町老人クラブ連合会総会	3,000円
6	祝金	5月15日	町民生委員児童委員協議会総会	5,000円
7	祝金	5月16日	町南部芸能協会総会	3,000円
8	会費	5月17日	第4分団結成80周年・屯所新築落成及びポンプ自動車更新記念祝賀会	3,000円
9	祝金	5月19日	町身体障害者福祉会総会	3,000円
10	祝金	5月19日	町商工会総会	3,000円

今月号の編集委員(3人)

- ・百目木和俊 議員 (産業建設)
- ・森 榮吉 議員 (教育民生)
- ・長根 岩夫 議員 (総務財政)



編集後記

平成27年第1～3回町議会(定例会・臨時会)の内容を掲載した議会だよりができましたので、報告します。

先般の選挙後、私たち議会組織も新たに決まり、よりよい町づくりのため頑張っておりますので、よろしくお祈りいたします。